

ボランティア情報 にじ

編集・発行：川西市社会福祉協議会ボランティア活動センター・川西市ボランティア連絡協議会

あなたの時間と経験を生かしませんか

ボランティア募集

子ども発達支援施設での手伝い

内容：園庭遊び・散歩の付添い・園内外の清掃
行事の手伝いなど
場所：川西さくら園 小戸3-12-10

障がい者と共に物作り

内容：自主製品の開発に取り組んでくださる方
ペーパーアート・手作り小物・ミニ観葉寄せ植えなど
※月～金 10:00～15:30 の都合の良い時間
場所：NPO法人あいらんど 小花2-7-1-102

介助ボランティア (男性希望)

内容：障がいのある男性の駐車場から
自宅玄関まで(10分程度)の付き添い
月・金 16:00～
場所：清和台東4丁目 公社

知的発達障がい者の見守り

内容・場所
水泳の見守り 第2・4日曜日 10:00～11:00
市民温水プール
フロア-ホッケー 第1・3土曜日 10:00～11:00
川西市総合センター
主催：スペシャルオリンピックス兵庫

出前ボランティア教室

企業やPTA、自治会、子供会などの研修に
ボランティアグループが出向き指導

内容：次のいずれかを2時間程度
点字、車イス介助、高齢者疑似体験
視覚障がい者の手引き

受付：先着3団体
定員：5～20名程度



ボランティア1日体験教室

7月18日(土) 点字
9月19日(土) 手話
10月17日(土) 視覚障がい者の手引き体験と
盲導犬利用者のお話

時間：13:30～15:30
場所：ふれあいプラザ3階他
費用：無料
定員：先着20名

無料

各教室とも前日
までに要申込み



21年度 県民ボランティア活動助成

エントリー書受付期間：7月6日(月)～9月4日(金)
詳細はボランティア活動センターまで



阪神電鉄 網走橋駅から徒歩5分
阪急・能勢電鉄 川西船場駅から徒歩10分

これから始まるボランティア講座

□申込・問合せ:ボランティア活動センター ☎ 072-759-5200 FAX 072-759-5203

ボランティア入門スクール(3日間)

7月29日(水)

10:00~12:00 開講式・講演

「ひと」と「ひと」をつなぐ

講師 佐野岳章さん

13:00~15:00 手話体験

手話で自己紹介など



7月30日(木)

10:00~12:00 要約筆記体験

聴覚障がい者へ文字で伝える方法を学ぶ

13:00~15:00 盲導犬利用者のお話

視覚障がい者の手引き

視覚障がい者への声のかけ方や

安全なガイドの仕方を体験

8月5日(水)

10:00~12:00 点字体験

自分の名前などを点字で打つ

13:00~15:00 車イス介助体験

車いすを押す側、乗る側の体験

15:00~ 閉講式

場所:ふれあいプラザ4階他

定員:先着20名 受講料:500円(学生は半額)

共催:川西市ボランティア連絡協議会(V連)

☆できるだけ3日間ともご参加ください

☆昼食は各自ご用意ください



初級傾聴(聴き手)ボランティア講座(全2回)

日ごろの悩みや思いに耳を傾けてくれるボランティアが求められています。
この講座では実習などに参加しながら学びます。

講師:関西学院大学専任講師 川島^{せき}恵美さん

内容:「コミュニケーションの基本」他

日時:7月31日(金) 9:30~12:30

8月7日(金) 9:30~12:30

場所:ふれあいプラザ4階

定員:先着30名

受講料:1,000円

共催:川西市ボランティア連絡協議会(V連)



知的障がい者児ボランティア講座

講師:猪名川町手をつなぐ育成会会員 鈴木めぐみさん他

内容:「知的障がい者児の地域での生活を支えるための人材について」

日時:8月20日(木)・27日(木) 13:30~15:30

場所:ふれあいプラザ4階

定員:先着20名 受講料:1,000円

☆安心してボランティア活動をしていただくために

「兵庫県ボランティア・市民活動共済」の加入をお勧めしています。



第25回 障がい者 街へ出よう運動に参加して

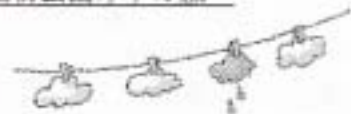
6/6(土) 滋賀県立琵琶湖博物館・草津市立水生植物公園みずの森へ

何と言っても、なごやかで、こんなにゆっくりできて嬉しい〜

お母さんの声

男性参加者の担当でしたが、トイレに行かれる時、男性のボランティアさんを捜すことになり…ちょっとあたふた。。。

ボランティア初めての女性から



初めての参加やけど来てよかったわぁ〜！
いろんな人と知りあえたし
良い思い出ができました
保護者から

ハスの花が満開の頃にまた来たいなあ

参加者の声

今年の「街へ出よう運動」は琵琶湖に行きました。私たち「父母の会」は、リフト付きの3号車のバスでした。父と一緒に参加しましたが、私の車イスにはボランティアの方が二人ついて下さいました。

「鮎屋の郷」で昼食と買い物、「琵琶湖博物館」「水生植物公園」とまわって帰ってきました。「琵琶湖博物館」は滋賀県の人たちとのつながりや歴史がわかり勉強になりました。水族館は普通的水族館に比べて地味な感じがしましたが、淡水魚などの知らなかった魚類を間近で見ることができ、楽しかったです。

「水生植物公園」では睡蓮が綺麗でした。「もう少し遅かったら、蓮の花がたくさん咲いていたんですよ」と言われて、惜しかったと思いました。それから、生まれて初めて風力発電の大きな風車を見ました。



きれいだね、睡蓮

また、「鮎屋の郷」では食事もおいしく、特に「琵琶湖アートギャラリー」が今日の見学会の中で一番思い出に残っています。

「鮎と琵琶湖の風景」を中心とした陶器類、絵画、美術工芸品などがたくさん展示されていて、私は陶芸をしているので興味深かったし、掛け軸もとても良かったです。中には値段が付いているものもあり高くて驚きましたが、そういうものを普段目にする機会がなかったので嬉しく思いました。風は少しありましたが、穏やかな1日でバスの乗車時間も長くなく楽しい1日でした。

付き添ってくださったボランティアさんには本当にお世話になりました。ありがとうございました。またぜひ一緒に行きたいと思っています。

父母の会 植田瑞子



水生植物公園



東谷中学校トライやる・ウィーク 6/8(月)~12(金)

2年生4名が川西市社会福祉協議会へ

みんなの感想文から

○車イスを押すのは大変だなと思ったけど、車イスに乗る人の視点でものを見ることを学んだ。

○一人暮らしの人は普段しゃべる人がいないので、配食サービスのときに会話ができてすごく嬉しいんだなと思った。

○アイマスクをして町を歩く体験をしたとき、エスカレーターの乗り降りが一番怖かった。

○「むぎのめ作業所」で一緒にクッキー作りをした。皆さんとても熱心に働いていて「集中力あるなあ」と思った。クッキーがいっぱい売れたらいいのになあ。

○ボランティアのしごとは「大変だけど楽しいものだ」と思えた。「これから大人になってこの5日間で学んだことが役立てられたらいいなあ」と思う。

○この体験で学んだことを生かして、これから困っている人に出会ったらお手伝いしたい。

にじの編集委員会に参加
興味を持ってくれたかな



☆社協会員募集中☆ 会費はボランティア活動費にも充てられます。詳細は社会福祉協議会へ



「心」の居場所へどうぞ

心の病気を抱えている方や、そのご家族の方
ひとりで悩まないで気軽にお立ち寄りください。

○毎月第3土曜日 13:30~15:30

場所：ふれあいプラザ3階

○毎月第4火曜日(祝日除く) 13:30~15:30

場所：ふれあいプラザ4階

ボランティア活動相談の日

ボランティア活動を始めようとしている人を対象に
活動の紹介や内容の説明などを行っています。
どうぞお越しください。

○毎月第3土曜日 13:30~15:30

場所：ふれあいプラザ3階

○毎月第2金曜日(祝日除く) 13:30~15:30

場所：パレットかわにし(小花1-8-1)



消費生活センター☆ご注意情報

〜クリーニングトラブルにあわないために〜

気軽に利用するクリーニングで、素材の多様化・衣類の高級化などから
トラブルが起きて原因の特定が難しく、解決困難な場合が多くなっています。

トラブルにあわないための注意点は、

- ① 出す際には、点数やしみなどをクリーニング店と一緒に確認する
- ② 仕上がったら早く引き取り、カバーをはずし、石油臭があれば陰干しをする
- ③ 仕上がりに後、おかしいと気がついたらすぐにクリーニング店に連絡する

不安な場合は、川西市消費生活センター(市役所2階⑩番カウンター)まで

☎ 072-740-1167 月~金(祝日除く) 9:00~12:00 12:45~16:00

衣替えの季節です



助成金情報

☆財団法人長谷川福祉会

対象：福祉団体・ボランティアグループ

締切：7月21日(火)

問合せ：長谷川福祉会

☎ 078-362-5678 FAX 078-341-4250

URL <http://www.hasegawafukushikai.jp>

☆その他の助成金情報は下記まで

財団法人助成財団センター

☎ 03-3350-1857 FAX 03-3350-1858

URL <http://www.jfc.or.jp/>

とくわ 読話教室

無料

話し手の唇の動きなどから話の内容を読み取る方法です。
学びませんか?

日時：9月6・20・27日、10月4日

いずれも日曜日 13:30~15:30

場所：ふれあいプラザ4階 対象：中途失聴・難聴者とその家族

定員：20名 持ち物：手鏡・メモ用紙・細字サインペン

締切：8月31日(月)

申込・問合せ：兵庫県立聴覚障害者情報センター

☎ 078-805-4175 FAX 078-805-4192 担当：小西・岡

問合せ先：川西市社会福祉協議会ボランティア活動センター

〒666-0017 川西市火打1-1-7(ふれあいプラザ3階)

☎ 072-759-5200 FAX 072-759-5203

Eメール vc@k-shakyo.or.jp URL <http://www.k-shakyo.or.jp/>

この「ボランティア情報にじ」は川西市ボランティア活動センター・公民館・市役所ロビー・アステ川西・スーパー等に置いてあります。継続してご愛読ください。

ちよんこつたじ

神戸発新型インフルエンザ騒動。終息宣言したとはいえ続きがあるのではという不安はぬぐいきれない。それぞれのドタバタを教訓として生かしたい。

ためらう母を誘って「青春の歌倶楽部」へ入会。申し込みに年齢記入はなく、六十代に八十代と。季節を追いかけながら、ジャンルを超えた懐かしの歌に再会できる。発声もならずメロディも間違えるが、みんなで歌えば怖くない。最初は遠慮がちなでも終わりの頃にはノリノリなのは推して知るべしである。若くさわやかなテノールの先生との出会いも何かの縁というもの。それにしても、高音にヒーヒー苦しむオヨメサンを尻目に艶やかに歌い切る母の屈託のなさよ。危険がいっぱいの道中もフォロー無用の心意気である。とは言え「何時に帰って来るんや...」置いてけぼりの父の心細さは未解決のままだ。「一緒に入会したらエエやんか」友人からの無邪気な提言も...

こうして編集が終わるたびに気にかかっている。「にじ」は、川西の皆さんに定着しているのかしらと。「ほとんど読まない」と聞かされ、カクンとくることもあれば、「にじ」をポケットに、問い合わせにこられる方に大いに励まされることも。初心を忘れず、私達の願いはボランティアの架け橋となること。

そうや！今号より二名の男性が仲間に加わった。「何だか雰囲気引き締まったよね」

追伸。第十三回パン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した

盲目のピアニスト、辻井伸行さんの快挙に拍手、拍手。

(延ホタル)

